

令和5年度 垂見小学校学校経営全体構想

経営理念

- 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた子どもの育成を目指す。
- 一人ひとりの子どもの良さを認め、伸ばし、自信を持たせていく教職員集団・学校づくりを目指す。
- 目標を共有し、協働して子どもを育てていくために、保護者・地域との一層の連携を目指す。

教育目標（長期的な目標）

共に学び、心豊かでたくましい子どもの育成

<めざす学校像>

- 子どもが主体的に学び、楽しい（分かる、できる、伸びる、かかわる）と感じる学校
- 社会性を身に付け自立できるよう子どもを鍛える学校
- 子どもが安心して学べる学習環境を教員、保護者、地域で創り出す学校

<めざす児童像>

- ①【共に学ぶ】 意欲的に学び続け、自分の伸びを実感できる子
他者とかかわりながら、自他共に高めようとする子
- ②【心豊か】 自他のよさを認め合い、自他を大切に
学級、学校、地域を大切にしようとする子
- ③【たくましい】 夢や希望をもって、粘り強く取り組む子
明るく、元気よく友だちと外遊びをする子

<めざす教師像>

- ① 使命感と責任感をもって、一人一人の子ども
のよさや可能性を伸ばす教師
- ② 共通目標に向かって協働的に取り組むこと
ができる教師
- ③ 自己研修を常に行い、子ども、保護者、
地域から信頼される教師

<児童の実態>

- ① 基礎学力は定着しつつあるが、学力や学習意欲の二極化、思考力や表現力に課題がある。
- ② 与えられた課題や指示された事にはよく取り組むが、自ら判断して行動したり、自分から友だちとかかわって取り組むことが苦手。
- ③ 外遊び児童の固定化、全力で体を動かす経験の不足。

<教職員の実態>

- ① 研修意欲の高い教師は多いが、授業力に差がある。
- ② 児童理解力、生徒指導力をはじめとした学級経営力に差がある。
- ③ 経営参画意識や重点目標を意識した取組に差がある。

<教育課題>

- ① 主体的に学ぶ意欲、読む力の育成、思考力・判断力・表現力の育成
- ② 自発性や自主性の育成、粘り強く取り組む態度、自尊感情の高揚
- ③ 運動能力の向上、基本的な生活習慣の確立

<経営課題>

- ① 授業力の向上、主体性を大切にした学級経営
- ② 重点目標達成に向けた教育課程経営
- ③ 重点目標達成に向けた組織の活性化

【中期的な教育目標（3年間で身に付けさせたい力）】

「自分で考え、最後まで粘り強く取り組む子どもの育成」

- R3 理由を付けて書き、考えを伝える子どもの育成
- R4 考えを伝えることができる子どもの育成
- R5 自分で考え行動できる子どもの育成

【中期的な経営戦略】

- ① 教育活動「基礎・基本の確実な定着、思考力・表現力の向上、よりよい人間関係の育成をねらいとする教育課程の編成・実施・評価及び管理の充実」
- ② 組織・運営「協働的な組織運営と危機管理の徹底、労働環境の改善」
- ③ 人材育成「授業力・学級経営力の向上、研修（事前研）の充実、OJTの取組」
- ④ CS推進に向けた条件整備、自尊感情の向上を図る環境の整備

【本年度の重点目標】

考えを伝えることができる子どもの育成

【本年度経営の重点】

ベクトルをそろえ指導の徹底を図る

《 組織・運営 》

- ①協働体制の確立
・教頭、主幹教諭のリーダーシップ
・三者会、研究推進委員会、各種委員会の定例化・機能化
・「報告・連絡・相談」体制の確立と徹底（管理職へ）
・2部会と近接学年部会の機能化と組織的取組
- ②危機管理の徹底
・不祥事防止のための職員研修
・いじめ、不登校への組織的対応
・安全意識の向上と安全確保の徹底のための重点化
・子どもの指導、保護者対応等についての記録の蓄積
・危機管理マニュアルの改善と訓練、安全教室等の効果的実施
- ③教職員の労働環境の改善
・会議の内容や行事等の精選
・放課後の学級事務の時間確保

《 教育課程 》

- ①教育課程編成の基本方針（重点事項）
・基礎・基本の確実な定着、楽しいと感じる授業の推進
・考えを伝え合う（対話力）の向上
・国語科学習指導方法の習得に向けた研修の充実
- ②教育課程の編成・実施・評価・管理の工夫
・編成 国語科（物語文）、算数科等への重点配当
学級活動（1）の指導の充実
総合的な学習の時間等によるICT活用能力の育成
- ・実施 「対話活動」を位置付けた授業づくりと指導の工夫、計画的な学力補充、自発的、自治的活動を目指した学級活動、体力作り・健口教育推進、ICTを活用した授業づくり
重点目標達成のための教師・児童の評価と子どもへのフィードバック
- ・評価 学力や生活面を目標値に照らして評価
重点目標評価を生かした指導内容等の改善
学力や生活面のデータからの指導改善
- ・改善管理 週案・授業研・教室訪問で量的、質的管理

《 人材育成 》

- ①授業力の向上
・基礎基本の確実な習得に向けた授業づくりの推進
・研修の日常化に向けた校内研修の充実
・ブチ研修会による指導技術の向上
- ②学級経営力の向上
・支持的風土づくりのための方策や生徒指導力向上のための相談体制の確立
・人間関係づくり、自尊感情高揚のための方策についての情報交換の時間設定
・学級経営案（自己評価表）によるPDCAサイクルの構築と活性化
- ③OJT、OFF-JTの取組
・若年教員の授業力向上に向けたOJT
・対象教員への組織的な授業力・学級経営力の育成（たるみの会：月1回）
・教育センター、教育事務所研修の復命、サークルへの参加、教育論文応募等

《 教育環境 》

- 校舎内外の環境づくりにむけて
・重点目標に向けた活動が見える環境
・読書への意欲化のための学校図書館内外の環境の工夫
・保健衛生に対する意識向上のための保健室内外の環境の工夫
・いつも整理整頓された教室、職員室のための職員の意識化

《 連携 》

- コミュニティスクール推進に向けて
①開かれた学校づくりの充実
・外部のモノ・コトを活用した教材の開発と学習の検討
・地域活動協働本部との連携（地域人材の活用）
・学校の魅力ある取組を伝える学校だよりの定期的な発行
- ②幼保小中の連携した取組の実施
・協働した学習（授業）や行事等の効果的取組の検討
・三橋中学校校区スタンダードの取り組み

《 評価等 》

- ③学校運営協議会での評価・改善
・学校経営の説明と評価・改善
・協働活動の推進と見直し
- ④各種評価の充実
・重点目標評価（教師・児童）の定期的な実施とPDCAサイクルの機能化
・児童への生活アンケートの実施と「見える化」したフィードバック